

NTT データ・ゼンリン・アルプスアルパインが 交通や地域社会課題の解決に向けて協業

~2023年4月より、沖縄県にてドライブレコーダーを活用した実証実験を実施~

2023年1月11日

株式会社 NTT データ

株式会社ゼンリン

アルプスアルパイン株式会社

株式会社 NTT データ（以下、NTT データ）、株式会社ゼンリン（以下、ゼンリン）、アルプスアルパイン株式会社（以下、アルプスアルパイン）の3社は、モビリティデータを活用し、全国の交通課題をはじめ、地域・社会課題の解決に向けた協業を開始します。

2023年4月より沖縄県でレンタカー車両に搭載したドライブレコーダーより画像、映像を収集し、リアルタイム性の高い情報について、レンタカーを利用する観光客へ提供できるプラットフォームの実証実験を開始します。レンタカーを利用する観光客は Web サイト上の地図からスマートフォンなどを通じ、特定の観光地や市街地を選択することで、道路や道路周辺状況の画像や映像を確認することができます。

これにより渋滞の状況や発生原因、目的地周辺の混雑状況の把握を促すことで、混雑しているエリアを回避して移動するといった利用者の行動変容につなげ、効率的に観光地を回れることでの観光客の満足度の向上や、地域住民にも影響ある交通渋滞の緩和等に貢献していきます。

今後3社は、本実証実験にて収集した情報について、NTT データが運営する交通環境情報ポータル「MD communit[®]注1」上にもカタログとして掲載し、他のモビリティデータや他分野とのデータ連携によるサービス高度化や、参画する会員企業との連携を通じ、モビリティデータを活用した観光や地域保全、防災、物流、業務効率化といったスマートシティを形成する幅広い分野での利活用を目指していきます。

オンデマンド型ドラレコ映像配信プラットフォーム

Phase1：沖縄レンタカーでの実証実験

沖縄を走るレンタカー車両の
ドライブレコーダーから映像データを取得



観光地周辺の道路が
どの程度渋滞しているか
リアルタイム性の高い映像が見える

交通渋滞緩和に貢献



Phase2 以降

映像データを活用した観光や地域保全、
防犯、物流でのサービス活用



沖縄だけでなく
各地域へエリア拡大



NTT DATA
Trusted Global Innovator

ZENRIN

ALPSALPINE

■背景

NTT データは、Society5.0 の実現に向け、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム^{注2}（SIP：エスアイピー）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」（以下、SIP 自動運転）における地理系データの流通促進に係る取り組みとして、官民連携の交通環境情報ポータル「MD communit」を運営しています。MD communit は交通環境情報の活用を通じて交通事故低減や交通渋滞の削減といった社会課題の解決や新たなサービス・価値の創出に取り組んでいます。

ゼンリンは、「知・時空間情報の創造により人びとの生活に貢献します」を企業理念とし、長年にわたって培ってきた地図づくりのノウハウを活用することで、高精度・高鮮度な地図情報を開発し、次世代モビリティ時代の社会基盤となる新たな位置情報サービスの提供に取り組んでいます。

アルプスアルパインは、“「移動」を、「感動」へ。Emotion in Mobility”の実現に向けて、センシング・制御・通信技術を駆使し、大変革が加速する自動車業界のニーズにマッチする製品とシステムの提供をしています。脱炭素社会・循環型社会への対応、安全性能の高度化、新たなモビリティサービスの構築など、時代の要請に応える顧客価値創りに取り組んでいます。

3社が保有する情報や技術を生かすことで、交通課題や社会課題を解決する新たなサービスの創出につながると考え、協業に至りました。

■実証実験について

3社は、レンタカー車両にドライブレコーダーを装着し、Webサイト上で各車両から得られた画像、映像についてレンタカーを利用する観光客へ提供するプラットフォームを構築します。本プラットフォームにおける有用性を検証するため、観光客数や地理的条件から実証に適した沖縄県をフィールドに設定し、実証実験を行います。

実証時期	2023年4月～
実証場所	沖縄県全域
対象	レンタカー車両およびその利用者
検証項目	サービスの利用意向、課金意向、実用化に向けた機能の改善点抽出など
検証内容（予定）	<ol style="list-style-type: none">1. 特定地点の映像情報提供 渋滞発生が想定される地点の画像、映像データを提供することで、渋滞の状況や渋滞の原因を把握できることを確認する。2. 走行経路上の映像情報提供 ドライブレコーダーを装着した車両が通過した走行経路を選択することで、選択した地点の画像、映像データが提供できることを確認する。3. マスキング処理 ドライブレコーダーから得られた画像、映像に対し、映り込んだ車両のナンバープレートや通行する人の顔などをAI画像認識の技術を用いて特定し、モザイクを施すことで効率的に個人情報を取り除く。

■各社の役割

NTT データ : 全体システムの開発/サーバー構築

ゼンリン : Webアプリケーションの開発/映像マスキング処理技術の提供

アルプスアルパイン : ドライブレコーダーの企画・設計・提供

■今後について

3社は、今後本実証で収集した画像や映像を含む各種データを、各社の保有する情報や技術と組み合わせることで、観光や地域保全、防犯、物流など、幅広い分野における新たなサービスの創出を目指します。

沖縄のみならず、エリア拡大することでより多くの方々に利用してもらうことで、日本各地の交通や地域社会課題解決に貢献していきます。

注 1…MD communit : SIP 自動運転が進めているモビリティ分野関連のデータを集約した官民連携でのサービス創出のためのポータル。Society5.0 に基づいた持続可能な社会システムの実現につながる取り組み。

詳細は、以下のリンクを参照ください。

<https://info.adus-arch.com/>

注 2…内閣府『戦略的イノベーション創造プログラム』

<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

* 「MD communit」は、国内における株式会社 NTT データの登録商標です。

*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標又は登録商標です。